

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月14日	
東京都知事 殿	
提出者 住 所 東京都府中市矢崎町 3 - 1 氏 名 サントリー株式会社 武蔵野ビール工場 工場長 梅澤 祐輔 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 4 2 - 3 6 4 - 2 2 1 1	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	サントリー株式会社 武蔵野ビール工場
事業場の所在地	東京都府中市矢崎町 3 - 1
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1022 ビール類製造業
②事業の規模	製造品出荷額 6,708,988万円
③従業員数	158名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	酒類等製造において発生した産業廃棄物を再生処理業者に委託して以下の再資源化を行う ・有機性汚泥・動植物性残さ：肥料 ・廃プラ類：電力・路盤材・再生プラ ・木製パレット：チップ ・ガラス屑：路盤材・煉瓦 ・無機性汚泥：再生砂・路盤材 ・蛍光灯：再生蛍光灯部品 ・紙くず：再生紙

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物管理責任者：事務長

廃棄物に係わる契約、許可証期限管理、排出量管理、マニフェスト管理、処分場視察：事務
部門廃棄物担当者および環境保全委員会事務局

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	排 出 量	138,722.42 t	13.37 t
	(これまでに実施した取組) 35種類の分別および業者選定見直し等による有価化、マテリアルリサイクル率の向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	排 出 量	143,039.23 t	13.78 t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底および業者選定見直し等による有価化、マテリアルリサイクル率の向上 各処分場ごとに年1回の視察実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ダンボール・コピー紙類・新聞紙・雑誌・その他紙類・透明瓶・茶瓶・ガラス屑・硬質ガラス・陶磁器・アルミ缶・アルミ箔・スチール缶・鉄くず・その他金属類・ペットボトル・塩化ビニール(塩ビ配管)・合成樹脂(プラスチック)・合成繊維・合成ゴム・ビニール袋・ポリ袋・発泡スチロール・ラーメン・弁当容器・乾電池類・蛍光管・電球・電気部品・電気製品・天然繊維くず(綿・毛(・木くず・ペン・マジック・たばこ灰・ライター・その他可燃物・生ゴミ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
排 出 量	1.74 t	0.00 t	0.01 t	111.38 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
排 出 量	1.79 t	0.00 t	0.01 t	114.85 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
排出量	－ t	0.00 t	6.00 t	0.27 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
排出量	－ t	0.00 t	6.19 t	0.28 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和5年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
排 出 量	74.15 t	73.49 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
排 出 量	76.46 t	75.78 t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	133, 874. 72 t	- t
②計画	(これまでに実施した取組) 汚泥含水率管理		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	142, 970. 71 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 上記の維持		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	4,847.99 t	13.37 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	4,847.99 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	13.37 t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
全処理委託量	1.74 t	0.00 t	0.01 t	111.38 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.73 t	0.00 t	0.01 t	12.00 t
再生利用業者への 処理委託量	1.74 t	0.00 t	0.01 t	44.55 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	66.83 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
全処理委託量	- t	0.00 t	6.00 t	0.27 t
優良認定処理業者への処理委託量	- t	0.00 t	- t	0.27 t
再生利用業者への処理委託量	- t	0.00 t	6.00 t	0.27 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第4面)－4

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
全処理委託量	74.15 t	73.49 t	－ t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	74.15 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	74.15 t	73.49 t	－ t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	その他の汚泥
	全 処 理 委 託 量	4,961.78 t	13.78 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4,961.78 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	13.78 t
	(今後実施する予定の取組) 分別の徹底および業者選定見直し等による有価化、マテリアルリサイクル率の向上 各処分場ごとに年1回の視察継続		
	※事務処理欄		

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	1.79 t	0.00 t	0.01 t	114.85 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	1.78 t	－ t	－ t	12.37 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.79 t	0.00 t	0.01 t	45.94 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	68.91 t

【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず(水銀関連除く)	金属くず(水銀使用製品産業廃棄物)	ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)	ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物)
全処理委託量	－ t	0.00 t	6.19 t	0.28 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	0.00 t	－ t	0.28 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	0.00 t	6.19 t	0.28 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	動植物性残さ		
	全 処 理 委 託 量	76.46 t	75.78 t	- t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	76.46 t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	76.46 t	75.78 t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。